

施策評価調書(1)

評価対象年度	30年度
--------	------

めざす姿	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”
施策名	5 地域資源の活用
施策関係課	(市長室)広報課／(経済部)産業労働政策課・産業振興課／(生涯学習部)文化財課

●施策の基本方針(目標)
本市が持つ多種多様な魅力と誇りを育み、市内外に発信していくことで、多くの交流や活動を生み出し、まちを元気にしていきます。

●目標指標									
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査)			単位	%	指標の種別	成果	
	目標値	現状値を上回る(平成32年度)		現状値	30.9(平成27年度)		達成状況		
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)		
	実績値	31.1	30.2	28					
指標②	名称	記者会見・記者発表・資料提供件数			単位	件	指標の種別	活動	
	目標値	420(平成32年度)		現状値	379(平成26年度)		達成状況		
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)		
	実績値	368	309	342					
指標③	名称	1110city.comのページビュー月平均件数			単位	件	指標の種別	結果	
	目標値	84,000(平成32年度)		現状値	76,402(平成25年度)		達成状況		
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)		
	実績値	32,082	19,969	12,214					
指標④	名称				単位		指標の種別		
	目標値			現状値			達成状況		
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)		
	実績値								
指標⑤	名称				単位		指標の種別		
	目標値			現状値			達成状況		
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度(目標年度)		
	実績値								

*「達成状況」: 目標年度に判定します。(目標値達成を「達成」、目標値未達を「未達成」)

事業額	(単位:千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算額	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度計画額
	事業費	161,823	177,213	338,294	276,540	4,037,322
	概算人件費	131,630	142,110	146,087	146,166	143,131
	総事業費	293,453	319,323	484,381	422,706	4,180,453

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 55	単位施策② 52	単位施策③ 56	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			54.3	

施策評価調書(2)

評価対象年度	30年度
--------	------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (予算額)	令和2年度 事業費 (計画額)	平成 30年度 の 総評価	令和 元年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
35100101	シティプロモーション 事業	市長室 広報課	17,503 11,890	46,808 11,310	47,290 11,455	39,011 11,455	39,011 11,455	56	現状維持 で実施
35100204	観光事業	経済部 産業振興課	21,889 15,990	8,406 14,040	92,916 18,170	12,984 14,220	12,984 15,405	56	縮小して 実施
35100212	地域物産館施設管理費	経済部 産業振興課	— —	2,673 0	3,860 1,343	4,735 2,686	4,735 2,686	52	拡充して 実施
35100221	その他広報事業	市長室 広報課	10,399 5,330	10,766 5,070	11,122 5,135	10,372 5,135	10,372 5,135	56	現状維持 で実施

② 歴史的資源の保護と活用									
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (予算額)	令和2年度 事業費 (計画額)	平成 30年度 の 総評価	令和 元年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
35200232	郷土資料館施設運営費	生涯学習部 文化財課	4,559 15,580	3,552 14,820	5,119 15,010	6,011 15,010	6,011 15,010	50	現状維持 で実施
35200301	史跡等管理事業	生涯学習部 文化財課	15,551 4,100	16,826 3,900	17,369 3,950	16,946 3,950	16,946 3,950	52	現状維持 で実施
35200401	赤山城跡保存整備事業	生涯学習部 文化財課	28,957 4,100	3,570 3,900	11,117 3,950	54,042 3,950	54,042 3,950	50	拡充して 実施
35200501	遺跡発掘調査事業	生涯学習部 文化財課	8,266 22,140	7,643 21,060	6,672 21,330	10,038 21,330	10,038 21,330	56	現状維持 で実施
35200601	民俗文化財等調査事業	生涯学習部 文化財課	7,385 2,460	8,242 2,340	3,095 2,370	6,498 2,370	6,498 2,370	42	現状維持 で実施
35200701	指定文化財候補物件 調査事業	生涯学習部 文化財課	460 4,100	925 3,900	80 3,950	380 3,950	380 3,950	50	効率化して 実施
35200801	文化財センター 施設運営費	生涯学習部 文化財課	1,992 13,120	1,209 12,480	2,544 12,640	2,019 12,640	2,019 12,640	48	現状維持 で実施
35200902	歴史的建造物 施設運営費	生涯学習部 文化財課	795 5,740	576 5,460	618 5,530	17,772 7,900	9,200 5,530	58	効率化して 実施
35200912	歴史的建造物 施設管理費	生涯学習部 文化財課	— —	— —	16,718 3,950	8,719 3,950	9,580 3,950	58	現状維持 で実施
35201101	その他文化財保護費	生涯学習部 文化財課	4,078 3,280	2,583 3,120	2,119 3,160	1,320 3,160	1,320 3,160	56	拡充して 実施
35201201	古文書資料 収集保管事業	生涯学習部 文化財課	2,056 6,570	2,829 6,530	246 6,590	250 6,590	250 4,740	46	効率化して 実施
35201301	古文書解説事業	生涯学習部 文化財課	2,398 6,570	2,742 6,530	1,899 4,220	2,210 4,220	2,210 4,220	53	効率化して 実施
35201401	歴史自然資料館開設準備 事業 (平成29年度をもって完了)	生涯学習部 文化財課	— —	14,451 9,360	— —	— —	— —	—	—
35201412	歴史自然資料館 施設管理費	生涯学習部 文化財課	— —	— —	32,619 2,370	11,592 2,370	11,592 2,370	56	現状維持 で実施

単位施策名	② 歴史的資源の保護と活用								
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (予算額)	令和2年度 事業費 (計画額)	平成 30年度 の 総評価	令和 元年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
35201502	文化的景観推進事業	生涯学習部 文化財課	—	8,122	13,088	429	0	56	効率化して 実施
			—	7,760	7,850	7,850	7,850		

単位施策名	③ SKIPシティを活用した地域の活性化								
事業コード	事業名称	担当課	平成28年度 事業費 (決算額)	平成29年度 事業費 (決算額)	平成30年度 事業費 (決算額)	令和元年度 事業費 (予算額)	令和2年度 事業費 (計画額)	平成 30年度 の 総評価	令和 元年度 の実施 方向性
			概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
35300102	NHK跡地整備事業	経済部 産業労働政策課	5,350	5,105	5,158	41,481	3,810,403	57	拡充して 実施
			4,920	4,680	6,004	7,031	7,031		
35300204	映画祭関連事業	経済部 産業労働政策課	25,000	25,000	60,000	25,000	25,000	56	縮小して 実施
			4,510	4,290	5,530	4,582	4,582		
35300302	映像関連普及事業	経済部 産業労働政策課	5,185	5,185	4,645	4,731	4,731	56	現状維持 で実施
			1,230	1,560	1,580	1,817	1,817		

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35100101	事業名称	シティプロモーション事業			事業区分	通常事業
							—
担当	市長室	広報課	問い合わせ先	258-1110(2231)	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 28 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民及び市外在住者		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	若者世代の流出を阻むように市の魅力を向上させる他、若者世代の定住促進に留まらず一人でも多くの若者世代、子育て世代の人々、そして本市の伝統であるものづくり産業の担い手、操業者・起業者等を市外から本市により多く呼び込むことを目的とする。		・誘客情報サイト「1110city.com」を基盤とした情報発信・川口市マスコット「きゅぼらん」を活用したPR活動・定住促進冊子を活用した本市知名度の向上・市内外の広告ビジョン、鉄道車両内や駅構内のモニターを用いた本市PR動画の放映・イルミネーション「かわぐち光のファンタジー」(H29～)の実施など		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	若い世代・子育て世代をターゲットとした定住促進冊子を市外イベントなどで配布。本市PR動画をJRTレインチャンネルやJ・ADビジョン、埼玉高速鉄道車内SRVなどで放映。中核市移行記念事業として、川口駅周辺などにイルミネーションを設置。		項目	実績	単位
			誘客情報サイトのページビュー件数	12,214	件
事業の成果 【定性的評価】	PR動画やイルミネーションが報道機関に取り上げられ、インターネットやツイッター上で好評価を得られている。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	誘客情報サイトのページビュー件数			指標・目標値の説明(算定式)	誘客情報サイト「1110city.com」のページを閲覧した年度累計数の月平均件数(件)					
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		48,000		48,000		48,000		48,000		48,000	
	実績値・達成状況	32,082		未達成	19,968	未達成	12,214		未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			一般会計		02款	01項	10目	002細目	04細々目	シティプロモーション事業			
年度			平成28年度		平成29年度			平成30年度		令和元年度		令和2年度	
予算額(A)			18,623		48,230			47,893		39,011		39,011	
決算額(B)=(C)+(D)			17,503		46,808			47,290					
財 源 ※	特定財源(C)		2,549		2,417			3,200		3,155			
	一般財源(D)		14,954		44,391			44,090		35,856			
概算人件費(E)			11,890		11,310			11,455		11,455		11,455	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.45	0.00	1.45	0.00	1.45	0.00	1.45	0.00	1.45	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)			29,393		58,118			58,745		50,466		50,466	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	各種調査によると、依然として川口市の知名度は高いとは言えない状況である。交流・定住人口を増加させるには、川口市をより広く周知するため、誘客情報サイト「1110city.com」によるさらなる情報発信など、従来の事業内容を強化していく。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35100204	事業名称	観光事業		事業区分	主要な事業
						政策宣言14・その他
担当	経済部	産業振興課	問い合わせ先	259-9018	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施				
根拠法令等	地域資源活用事業補助金交付要綱、川口まちかど観光案内所事業実施要綱、川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり実行委員会補助金交付要綱				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託			
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)				
	市外からの観光客及び市民	同左				
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)				
	本市に特徴のある様々な地域資源(観光資源)を活用した観光振興に取り組むことで、魅力ある訪れたいまち、選ばれるまちの実現を目指す。	・観光PR促進事業 ・地域資源を活用した事業への団体補助金 ・歴史的財産を活用したイベントである「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」の準備、PR ・まちかど観光案内所事業				
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたいのか)	主な実績				
	・観光PR促進事業として、外国人観光客の誘致を目的とし、観光ルートマップの多言語版(英語・中国語・韓国語)を作成。 ・地域資源(観光資源)を活用した事業を行う地域団体に対し、対象経費の50%(上限200,000円)を助成。 ・「川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」の準備、PR活動	項目	実績		単位	
		地域資源活用事業補助金の交付	6		件	
事業の成果【定性的評価】	歴史的財産である日光御成道を舞台としたイベントや地域資源を活用したイベント等の実施により、市外から多くの来場者が訪れ、観光誘客に繋がったとともに、市民の地域愛の醸成に寄与した。					

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域資源活用事業補助金交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	地域資源を活用した事業を行う地域団体への助成。			
	単位	件	指標の種別	結果					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績値・達成状況	2 未達成	5 未達成	6 未達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位	指標の種別							
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	07款	01項	02目	004細目	01細々目	観光事業		
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
予算額(A)	23,733	9,478	96,727	12,984	12,984				
決算額(B)=(C)+(D)	21,889	8,406	92,916						
財源※	特定財源(C)	0	146	80	0				
	一般財源(D)	21,889	8,260	92,836	12,984				
概算人件費(E)	15,990	14,040	18,170	14,220	15,405				
従事職員人数(人)	常勤 再任用	1.95 0.00	1.80 0.00	2.30 0.00	1.80 0.00	1.95 0.00			
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	37,879	22,446	111,086	27,204	28,389				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	観光物産協会、商工団体、緑化団体、商店街等と協力・連携し、地域資源を活用する事業を展開する必要がある。発展した事業を展開するため、情報共有・収集に努め、連携した事業展開を目指す。また、今年度開催した「第3回川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」を風化させないために、日光御成道を活用した観光促進事業を計画・実行していく必要がある。	元年度	縮小して実施
		2年度	効率化して実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35100212	事業名称	地域物産館施設管理費		事業区分	主要な事業
						政策宣言36
担当	経済部	産業振興課	問い合わせ先	258-1110(2508)	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	イイナパーク川口の賑わいの拠点として、地場産農産物の販売などを行い、地域の振興を図る。		地域物産館を集客性の高いイベントやワークショップを開催する使用者に貸し出すことにより、市内外から訪れる利用者の憩いの場所となることで、地域コミュニケーションの活性化に繋げる。		
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	地域物産館のPRに繋げるため、集客性の高いイベントやワークショップを開催する使用者に貸出した。		項目	実績	単位
			地域物産館利用件数	12	回
					回
					回
事業の成果【定性的評価】	地域コミュニケーションの活性化に繋がった。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域物産館貸出日数			指標・目標値の説明(算定式)	31年度は30年度の目標値の1.2倍とした。 32年度は10月以降から指定管理者導入予定のため、30年度と同様とした。			
	単位	日	指標の種別	結果					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績値・達成状況			36	達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	07款	01項	02目	006細目	01細々目	地域物産館施設管理費		
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
予算額(A)	—	2,673	4,647	4,735	4,735				
決算額(B)=(C)+(D)	—	2,673	3,860						
財源※	特定財源(C)	—	0	0	0				
	一般財源(D)	—	2,673	3,860	4,735				
概算人件費(E)		—	0	1,343	2,686				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.00	0.00	0.17	0.00	0.34
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	2,673	5,203	7,421	7,421				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
52 ／60	令和2年度ハイウェイオアシス開業に伴い、指定管理者制度も含めを導入を検討しており、スムーズに運営が始められるようにする必要がある。	元年度	拡充して実施
		2年度	拡充して実施
		3年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35100221	事業名称	その他広報事業	事業区分	通常事業
担当	市長室	広報課	問い合わせ先	258-1110(2231)	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施		
根拠法令等			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	川口市掲示板等を利用し、行政情報を提供するもの。		市内の約1,000基ある掲示板の維持管理及び市発行ポスターの貼付		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	毎月1～15日、16日～月末の2回を期間に市発行ポスターを貼付した。また、町会からの要望で随時、掲示板の新設・移設・修繕等を行った。		項目	実績	単位
			掲示板設置箇所数	1,000	基
事業の成果 【定性的評価】	掲示板は市内の人目に付きやすい場所を利用して設置しており、広報効果は極めて高い。市内外に各種市政情報を提供することができた。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			一般会計		02款	01項	10目	002細目	05細々目	その他広報事業			
年度			平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)			10,718				10,818		11,221		10,372		
決算額(B)=(C)+(D)			10,399				10,766		11,122				
財 源 ※	特定財源(C)		0				0		0				
	一般財源(D)		10,399				10,766		11,122		10,372		
概算人件費(E)			5,330				5,070		5,135		5,135		
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.65	0.00	0.65		0.00	0.65	0.00	0.65	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)			15,729				15,836		16,257		15,507		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	屋外での事業のため、風雨による破損やいたずら等のリスクを内包している。物理的な情報提供であるが、市ホームページとの連携を模索する等、より効果的な情報提供の検討も必要である。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35200232	事業名称	郷土資料館施設運営費	事業区分	主要な事業 政策宣言14
担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和 56 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	川口市立文化財センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市民に郷土の歴史・民俗・文化についての理解、文化財愛護の精神を深めてもらうとともに、収蔵資料を後世に伝えるもの。		文化財資料の展示・学習会・収蔵を行う施設として郷土資料館を運営する。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	企画展2回(「大変だ！将軍様がやって来る！！」展、「変わる街 変わるくらし」展)、講座2回(日光御成道にかかる歴史講座、文化財めぐりバスツアー)を実施した。		項目	実績	単位
			企画展	9,053	人
			講座等	70	人
事業の成果 【定性的評価】	市民に郷土川口の歴史・民俗・文化について理解を深めていただくとともに、文化財愛護精神の高揚に寄与できた。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	郷土資料館実施事業来館・参加者数				指標・目標値の説明(算定式)	郷土資料館実施事業来館・参加者数				
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		3,500		3,500		3,500					
実績値・達成状況	3,874	達成	5,380	達成	9,123	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		一般会計		10款	06項	08目	007細目	01細々目	郷土資料館施設運営費			
年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)		4,873		3,776		5,918		6,011		6,011		
決算額(B)=(C)+(D)		4,559		3,552		5,119						
財 源 ※	特定財源(C)	1,032		1,102		1,049		1,068				
	一般財源(D)	3,527		2,450		4,070		4,943				
概算人件費(E)		15,580		14,820		15,010		15,010		15,010		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.90	0.00	1.90	0.00	1.90	0.00	1.90	0.00	1.90	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		20,139		18,372		20,129		21,021		21,021		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
50 ／60	企画展の実施回数は2回であったが、川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつりの開催に併せ実施し、また文化財センターや鳩ヶ谷庁舎、歴史自然資料館をサテライト会場にして実施し、効果の拡大をはかった。今後も、内容や実施方法を駆使していきたい。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35200301	事業名称	史跡等管理事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	・木曽呂の富士塚 ・赤山城跡		市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	国指定重要有形民俗文化財である「木曽呂の富士塚」及び県の旧跡である「赤山城跡」の保存管理等を行うもの。		「木曽呂の富士塚」と「赤山城跡」保存整備事業区域内における樹木管理、用地施設の修理、土地の借上げ等を行う。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	・木曽呂の富士塚の管理を行った。 ・赤山城跡の管理を行った。 ・史跡修繕を行った。		項目	実績	単位
			木曽呂の富士塚樹木管理	1,494	m ²
			赤山城跡樹木管理	28,845	m ²
			赤山城跡賃貸借	10,703.52	m ²
事業の成果 【定性的評価】	用地借り上げ、樹木管理、修繕を行うことにより、本市の貴重な文化財である木曽呂の富士塚と赤山城跡の保護をはかることができた。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	樹木管理面積			指標・目標値の説明(算定式)	国指定重要有形民俗文化財と県の旧跡の保存管理面積			
	単位	m ²	指標の種別	結果					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
		30,000	30,000	30,000					
指標②	実績値・達成状況	30,339	達成	30,339	達成	30,339	達成		
	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		一般会計		10款	06項	08目	002細目	01細々目	史跡等管理事業			
年度		平成28年度		平成29年度			平成30年度		令和元年度		令和2年度	
予算額(A)		15,772		16,836			17,420		16,946		16,946	
決算額(B)=(C)+(D)		15,551		16,826			17,369					
財 源 ※	特定財源(C)	0		0			0		0			
	一般財源(D)	15,551		16,826			17,369		16,946			
概算人件費(E)		4,100		3,900			3,950		3,950		3,950	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		19,651		20,726			21,319		20,896		20,896	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
52 ／60	史跡の管理面積が広大で、市所有地は年々増加傾向にあり、箇所に応じた適切な管理が必要である。今後は、保存整備の計画の検討、更なる民間活用も検討したい。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35200401	事業名称	赤山城跡保存整備事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 2 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)		
	赤山城跡	市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	県の旧跡で本市の重要な歴史遺産である「赤山城跡」の公有地化整備を行うもの。	「赤山城跡」の保存整備をはかるため、売却要望のある土地の購入を行う。		
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	主な実績		
	県指定旧跡赤山城跡の用地購入を行った。しかし、一部用地についての交渉が不調となり、予定面積の購入ができなかった。	項目	実績	単位
		赤山城跡用地購入	264.40	m ²
事業の成果【定性的評価】	事業全体としては、今年度購入した史跡用地は、堀に面する遊歩道の一部であり、史跡の保存をはかるとともに、その活用に供することができることから、県指定旧跡赤山城跡に対する市民意識の向上につながった。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	公有地化			指標・目標値の説明(算定式)	旧跡の公有地化			
	単位	m ²	指標の種別	結果					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績値・達成状況	958	91	359.78					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位								
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	002細目	02細々目	赤山城跡保存整備事業		
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
予算額(A)	28,969	4,055	11,938	54,042	54,042				
決算額(B)=(C)+(D)	28,957	3,570	11,117						
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0				
	一般財源(D)	28,957	3,570	11,117	54,042				
概算人件費(E)	4,100	3,900	3,950	3,950	3,950				
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	33,057	7,470	15,067	57,992	57,992				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 ／60	保存整備対象地が128,502m ² と広大であるため、堀と遊歩道を優先して公有地化をはかっている。買収に年月を要するため、史跡の友好な活用を検討した購入を行う。	元年度	拡充して実施
		2年度	拡充して実施
		3年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35200501	事業名称	遺跡発掘調査事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、埋蔵文化財緊急調査費国庫補助要項、文化財保存事業費関係補助金交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	発掘調査を伴う個人宅造の市民等、各種開発に伴い埋蔵文化財範囲確認調査を必要とする市民等・事業者	同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	各種開発事業に伴う、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地を確認するための範囲確認調査や埋蔵文化財の記録保存をはかるもの。	各種開発事業に伴い、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地を確認するための範囲確認調査や記録保存のための遺跡の発掘調査を実施する。また、発掘調査により出土した遺物等の整理作業を行うとともに記録にまとめ、報告書を刊行する。			
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 範囲確認調査28件、民間調査支援組織による発掘調査3件、平成29年度実施調査の整理作業及び報告書を刊行した。	主な実績			
		項目	実績	単位	
		各種開発に伴う範囲確認調査	28	件	
		民間調査支援組織による発掘調査	3	件	
		実施調査の整理作業及び報告書刊行	1	冊	
事業の成果【定性的評価】	埋蔵文化財の保存・活用が図れた。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	範囲確認調査の件数	指標・目標値の説明(算定式)	範囲確認調査は、開発行為に伴い実施するものであり、目標値を事前に設定できないため、年度実績を便宜上、目標値とする。
単位	件	指標の種別	結果	
目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実績値・達成状況	29	23	28	
	達成	達成	達成	
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
単位		指標の種別		
目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実績値・達成状況				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	003細目	01細々目	遺跡発掘調査事業
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	8,573	9,510	9,340	10,038	10,038		
決算額(B)=(C)+(D)	8,266	7,643	6,672				
財源※	特定財源(C)	3,000	2,925	2,800	3,150		
	一般財源(D)	5,266	4,718	3,872	6,888		
概算人件費(E)	22,140	21,060	21,330	21,330	21,330		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	2.70 0.00	2.70 0.00	2.70 0.00	2.70 0.00	2.70 0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	30,406	28,703	28,002	31,368	31,368		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 ／60	現状維持で、同等の事業を実施していく。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35200601	事業名称	民俗文化財等調査事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 3 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、川口市文化財保護条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	文化財資料		市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市内に所在する民俗文化財や鋳物関係資料等の文化財資料を調査し保護するため。		民俗文化財資料等について現地調査を行い、記録する。また、収集した資料について、洗浄、メンテナンス、調査し台帳に整理し、収蔵・保管する。		
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	・民俗資料の調査・整理を行った。 ・資料リストの作成を行った。		項目	実績	単位
			民俗資料整理	925	点
事業の成果【定性的評価】	収集した民俗文化財資料を調査・整理・記録し、報告・活用することにより、市民の文化財愛護精神と郷土愛の醸成につながった。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	民俗資料整理点数			指標・目標値の説明(算定式)	民俗資料整理点数			
	単位	点	指標の種別	活動					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
		1,000	1,000	1,000					
指標②	実績値・達成状況	2,653	達成	5,121	達成	925	未達成		
	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	003細目	02細々目	民俗文化財等調査事業			
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
予算額(A)	8,184	8,599	4,978	6,498	6,498					
決算額(B)=(C)+(D)	7,385	8,242	3,095							
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0					
	一般財源(D)	7,385	8,242	3,095	6,498					
概算人件費(E)	2,460	2,340	2,370	2,370	2,370					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	9,845	10,582	5,465	8,868	8,868					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	どちらともいえない	11 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性		
42 ／60	民俗文化財資料の寄贈資料の整理に加え、織物見本帳資料の画像化とデータ・ベース化を実施している。文化財の特殊技能を必要とする作業であることから、着実に実施していきたい。	元年度	現状維持で実施	
		2年度	現状維持で実施	
		3年度	現状維持で実施	

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35200701	事業名称	指定文化財候補物件調査事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ② 歴史的資源の保護と活用				
根拠法令等	文化財保護法、川口市文化財保護条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	文化財資料		市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市内に所在する指定候補文化財等の現地調査を行い、文化財の保存をはかるため。		市内に所在する指定候補文化財を文化財保護審議会委員等の専門家に依頼し、調査する。その成果を報告書にまとめ、教育委員会の諮問に基づく文化財保護審議会における審議会の資料とし、審議結果を答申する。指定文化財等の現地調査をする。		
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	・指定候補物件調査を行った。 ・市内文化財現況調査を行った。		項目	実績	単位
			三ツ和遺跡出土木簡調査	3	回
			織物調査	2	回
			赤山陣屋、歴史的建造物、仏像調査	3	回
事業の成果【定性的評価】	本市の歴史・文化や地域的特色を示す指定文化財や指定候補文化財を調査することにより、文化財を保護し、併せて将来市民が文化財愛護精神と郷土愛を高揚させる一助とした。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	調査回数				指標・目標値の説明(算定式)	文化財調査回数				
	単位	回	指標の種別	活動							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		8		8		8					
	実績値・達成状況	8	達成	83	達成	8	達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	003細目	03細々目	指定文化財候補物件調査事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	460	925		380		380		380		
決算額(B)=(C)+(D)	460	925		80						
財源※	特定財源(C)	0	0		0		0			
	一般財源(D)	460	925		80		380			
概算人件費(E)		4,100	3,900		3,950		3,950		3,950	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		4,560	4,825		4,030		4,330		4,330	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 ／60	本市の歴史と地域性を示す文化財資料は様々なものがあると想定されるが、指定候補文化財の調査や指定文化財の現況調査は、文化財保護審議会委員等の専門家による調査であることから、優先順位や効率を検討して実施していきたい。	元年度	効率化して実施
		2年度	効率化して実施
		3年度	効率化して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35200801	事業名称	文化財センター施設運営費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	市民等		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市内に所存する資料を文化財センターに収集・保管し、展示・活用する施設として運営するもの。		文化財資料の整理作業を実施し、活用・収蔵を行う。また市民に文化財の大切さを周知するために、文化財に関する講座等の開催のほか、企画展を開催する。		
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	文化財資料の展示・学習・収蔵を行う施設として文化財センターを運営した。		項目	実績	単位
			文化財調査報告会	43	人
			郷土資料館と連携した展示会	2,559	人
			来館者数	4,342	人
事業の成果【定性的評価】	常設展示や郷土資料館と連携した企画展を開催し、また文化財調査報告会を開催し、市民に文化財に接し理解を深めていただく機会を提供した。また、小中学生対象の歴史教室の実施や社会科見学への対応により、文化財愛護の精神を養う一助とした。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化財センター来館者数	指標・目標値の説明(算定式)	来館者数
	単位	人		指標の種別
	目標値	平成28年度 4,000		平成29年度 4,000
	実績値・達成状況	4,903 達成		平成30年度 4,342 達成
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位			指標の種別
	目標値	平成28年度		平成29年度
	実績値・達成状況			平成30年度

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	004細目	01細々目	文化財センター施設運営費
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	2,319	1,228	2,707	2,019	2,019		
決算額(B)=(C)+(D)	1,992	1,209	2,544				
財源※	特定財源(C)	241	193	309	192		
	一般財源(D)	1,751	1,016	2,235	1,827		
概算人件費(E)	13,120	12,480	12,640	12,640	12,640		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	1.60 0.00	1.60 0.00	1.60 0.00	1.60 0.00	1.60 0.00	1.60 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	15,112	13,689	15,184	14,659	14,659		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
48 ／60	平成30年度は、郷土資料館と連携した企画展を行い、来館者の確保に努めた。今後も内容を充実させ、来館者の増加につなげたい。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35200902	事業名称	歴史的建造物施設運営費		事業区分	主要な事業
						政策宣言34
担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ② 歴史的資源の保護と活用					
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)			
	市民等		同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	国登録有形文化財「旧田中家住宅」の保存・活用を行うもの。		大正期に建設された「旧田中家住宅」の文化財としての魅力を多くの人に感じてもらうための活動事業や、また、文化財を保存するため活動しているボランティア団体「魅がきたい」への支援などを行う。			
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績			
	・端午の節供事業を行った。 ・桃の節供事業を行った。 ・茶会を行った。 ・各種共催イベントを実施した。 ・ボランティア団体「魅がきたい」の活動支援を行った。		項目	実績	単位	
			節供事業・茶会参加者数	1,984	人	
			共催イベント参加者数	2,745	人	
			ボランティア団体活動参加者数	延148	人	
事業の成果 【定性的評価】	重要文化財「旧田中家住宅」を広くPRし、市民の文化財愛護精神の向上と市民文化の向上に寄与した。					

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	旧田中家住宅来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	来館者数		
	単位	人	指標の種別	結果				
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	実績値・達成状況	7,065	達成	7,973	達成	11,949	達成	
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)			
	単位		指標の種別					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	005細目	01細々目	歴史的建造物施設運営費	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
予算額(A)	848	593	637	17,772	9,200			
決算額(B)=(C)+(D)	795	576	618					
財源※	特定財源(C)	0	0	0	4,271			
	一般財源(D)	795	576	618	13,501			
概算人件費(E)	5,740	5,460	5,530	7,900	5,530			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.70	0.00	1.00	0.00
0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	1.00	0.00	0.70
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,535	6,036	6,148	25,672	14,730			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 ／60	旧田中家住宅の活用は、市民文化の向上と文化財愛護や郷土愛の醸成に、大変有益である。今後は、文化財を保護するとともに、施設の活用・運営にも民間活力を取り入れ、魅力ある事業を推進していきたい。	元年度	効率化して実施
		2年度	効率化して実施
		3年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	35200912	事業名称	歴史的建造物施設管理費	事業区分	主要な事業 政策宣言34
担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 市民	受益者(最終的に受益を受ける人) 市民	
事業の概要	事業の目的(何のために) 歴史的建造物(旧田中家住宅:国の重要文化財指定)の適切な管理と、誘客するための運営業務の一部。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 清掃、施設の管理等の管理業務と誘客するための運営に関する事業。	
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 誘客するためのイベントの開催	主な実績	
		項目	実績 単位
		委託事業内のイベント	3 回
		文化財課自主事業の開催	4 回
事業の成果【定性的評価】	来館者数が通常時より多くなった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	旧田中家住宅来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	来館者数			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績値・達成状況	7,065 達成	7,973 達成	11,949 達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	005細目	02細々目	歴史的建造物施設管理費		
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
予算額(A)	—	—	17,299	8,719	9,580				
決算額(B)=(C)+(D)	—	—	16,718						
財源※	特定財源(C)	—	—	1,980	1,272				
	一般財源(D)	—	—	14,738	7,447				
概算人件費(E)	—	—	3,950	3,950	3,950				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	—	—	20,668	12,669	13,530				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
58 ／60	市民文化の向上のために、重要文化財「旧田中家住宅」の活用をはかっていくことは大変有益であるが、活用をはかるうえでも適切な保存管理が望まれる。	元年度	現状維持で実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 30年度

事業コード	35201101	事業名称	その他文化財保護費	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 元 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	川口市文化財保護条例、川口市管理維持費交付要綱、川口市文化財保存事業費交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) 指定文化財所有者、保持団体	受益者(最終的に受益を受ける人)	市民等
事業の概要	事業の目的(何のために) 指定文化財を維持管理・修理・活用するための費用の補助金交付を行うもの。	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) 指定文化財管理維持費、無形民俗文化財保存継承費、文化財保存事業費補助金の交付を行う。また、文化財説明板の設置、各協議会負担金の交付を行う。	
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) 指定文化財補助金交付事業を行った。	主な実績	
		項目	実績
		指定文化財管理維持費交付件数	82 件
		無形民俗文化財保存継承費補助金交付件数	5 件
		文化財保存事業費補助金交付件数	1 件
事業の成果【定性的評価】	指定文化財所有者・保持団体に補助金を交付したにより、指定文化財が保護された。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指定文化財補助金交付件数	指標・目標値の説明(算定式)	指定文化財補助金交付件数
	単位	件	指標の種別	活動
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		88	90	88
	実績値・達成状況	88 達成	90 達成	88 達成
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位		指標の種別	
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	実績値・達成状況			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	008細目	01細々目	その他文化財保護費
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	4,089	2,583	2,120	1,320	1,320		
決算額(B)=(C)+(D)	4,078	2,583	2,119				
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0		
	一般財源(D)	4,078	2,583	2,119	1,320		
概算人件費(E)	3,280	3,120	3,160	3,160	3,160		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,358	5,703	5,279	4,480	4,480		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 ／60	指定文化財を次世代に継承していくうえでの課題を把握し、適切な交付と文化財保護支援を検討していきたい。	元年度 拡充して実施 2年度 拡充して実施 3年度 拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35201201	事業名称	古文書資料収集保管事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	川口市文化財保護条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	本市に残された古文書、及び文化財課古文書係で保管する古文書		市民、及び本市の歴史に関心をもつ市外在住者		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	本市の歴史を解明する上で不可欠な古文書を調査・収集し、収集した古文書を最適な形で後世に伝えるため。		本市に残された古文書の調査・収集・整理		
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	本市に残された古文書の調査・収集、文化財課で保管する古文書の再整理。		項目	実績	単位
			古文書の収集	3	件
			古文書のデータ処理	1,431	点
事業の成果【定性的評価】		本市に残された古文書を新たに3件、1,431件収集し、データ処理を行った。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	古文書の収集件数				指標・目標値の説明(算定式)	古文書の収集は、所蔵者からの調査依頼等によって適宜行われるものであり、目標値を事前に設定できないため、年度実績を便宜上、目標値とする。													
	単位	件	指標の種別	結果																
	目標値	平成28年度		平成29年度											平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況		2	達成	3										達成	3	達成			
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)														
	単位		指標の種別																	
	目標値	平成28年度		平成29年度											平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況																			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	10款	06項	08目	012細目	01細々目	古文書資料収集保管事業			
年度	平成28年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
予算額(A)	2,219	3,265		247		250		250		
決算額(B)=(C)+(D)	2,056	2,829		246						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	2,056		2,829		246		250		
概算人件費(E)		6,570		6,530		6,590		6,590		
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.60	0.50	0.60	0.50	0.60	0.50	0.60
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		8,626		9,359		6,836		6,840		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
46 ／60	本市に残された古文書の調査・収集、文化財課で保管する古文書の整理は、今後も継続的に実施し、貴重な歴史史料をより良い形で後世に伝えていかなくてはならない。今年度の組織改正により、文化財保護係に統合されたため、更に効率的に実施していく必要がある。	元年度	効率化して実施
		2年度	効率化して実施
		3年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35201301	事業名称	古文書解読事業	事業区分	通常事業
担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	川口市文化財保護条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)			
	市民、及び本市の歴史に関心をもつ市外在住者	同左			
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)			
	本市に残された古文書を解読し、後世に記録として残すほか、それを活用した事業を実施し、市民及び本市の歴史に関心をもつ人に広く公開するため。	専門家に依頼しての古文書解読・古文書講座の実施・解読した古文書を史料叢書として刊行			
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・古文書解読の推進 ・古文書講座の開催 ・川口市史料叢書第2集の編纂	主な実績			
		項目	実績	単位	
		古文書講座の開催	4	回	
事業の成果【定性的評価】	古文書講座参加者に、本市に残された古文書資料の重要性について広く周知することができた。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	古文書講座の参加者			指標・目標値の説明(算定式)	開催要項において設定した募集人数			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度		
	実績値・達成状況	30	達成	60		達成	30	未達成	
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度		
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			一般会計		10款	06項	08目	012細目	02細々目	古文書解読事業			
年度			平成28年度		平成29年度			平成30年度		令和元年度		令和2年度	
予算額(A)			2,571		2,742			1,954		2,210		2,210	
決算額(B)=(C)+(D)			2,398		2,742			1,899					
財 源 ※	特定財源(C)		0		0			0		0			
	一般財源(D)		2,398		2,742			1,899		2,210			
概算人件費(E)			6,570		6,530			4,220		4,220		4,220	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.50	0.60	0.50	0.30	0.50	0.30	0.50	0.30	0.50
総事業費{(A)又は(B)}+(E)			8,968		9,272			6,119		6,430		6,430	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
53 ／60	本事業の必要性・有効性は高いものの、今年度の組織改正により文化財保護係業務に統合されたため、更に工夫を重ねて実施していきたい。	元年度	効率化して実施
		2年度	効率化して実施
		3年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35201412	事業名称	歴史自然資料館施設管理費			事業区分	主要な事業
							政策宣言36
担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続	新規	

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	川口市立文化財センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	歴史自然資料館		市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	平成30年4月の赤山歴史自然公園(イイナパーク川口)開園に併せて開館した歴史自然資料館の管理業務と一部運営業務		清掃、警備、映像設備保守、消防設備保守等施設の管理業務と誘客するための運営に関する事業。		
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	誘客するためのイベントの開催		項目	実績	単位
			委託事業内のイベント等	18	回
			文化財課自主事業の開催	1	回
事業の成果【定性的評価】	来館者数が増加した。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	歴史自然資料館来館者数				指標・目標値の説明(算定式)		来館者数			
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
						50,000					
	実績値・達成状況					72,431	達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		一般会計		10款	06項	08目	011細目	02細々目	歴史自然資料館施設管理費			
年度		平成28年度		平成29年度			平成30年度		令和元年度		令和2年度	
予算額(A)		—		—			33,589		11,592		11,592	
決算額(B)=(C)+(D)		—		—			32,619					
財源※	特定財源(C)	—		—			0		0			
	一般財源(D)	—		—			32,619		11,592			
概算人件費(E)		—		—			2,370		2,370		2,370	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	—	—	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		—		—			34,989		13,962		13,962	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 ／60	施設や設備を管理し、民間活力を活用した魅力ある誘客イベントを開催することにより、更なる誘客につなげたい。	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35201502	事業名称	文化的景観推進事業		事業区分	主要な事業
						政策宣言39
担当	生涯学習部	文化財課	問い合わせ先	222-2421	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 29 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	安行・神根・新郷・戸塚周辺の植木畑等とその所有者		市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	本市の重要な地場産業のひとつである植木産業によって形成された風景を、安行植木業の文化的景観として国重要文化的景観に選定を受けるため実施するもの。		安行植木の文化的景観を国重要文化的景観への選定を受けるため、文化的景観調査、保存活用計画作成、普及啓発事業等を実施するもの。		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	安行植木業の文化的景観について、文化的景観調査、歴史民俗調査、地質・植生調査を実施するとともに、文化的景観調査委員会、講演会等を実施した。		項目	実績	単位
			文化的景観調査委員会	3	回
			講演会参加者	42	人
事業の成果 【定性的評価】		安行植木業の文化的景観の概要、歴史、地質・植生等の調査を実施した。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	会議の実施回数				指標・目標値の説明(算定式)	文化的景観調査委員会会議の実施回数				
	単位	回	指標の種別	活動							
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
				3		6					
	実績値・達成状況			3	達成	3	未達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			一般会計		10款	06項	08目	009細目	01細々目	文化的景観推進事業		
年度			平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
予算額(A)			—		8,137		18,459		429		0	
決算額(B)=(C)+(D)			—		8,122		13,088					
財源※	特定財源(C)		—		4,060		6,543		0			
	一般財源(D)		—		4,062		6,545		429			
概算人件費(E)			—		7,760		7,850		7,850		7,850	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	—	—	0.90	0.20	0.90	0.20	0.90	0.20	0.90	0.20
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			—		15,882		20,938		8,279		7,850	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	植木畑所有者の理解を得ながら、安行植木業の文化的景観の調査を進展させ、事業を進める必要がある。	元年度	効率化して実施
		2年度	効率化して実施
		3年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35300102	事業名称	NHK跡地整備事業		事業区分	主要な事業
						政策宣言32
担当	経済部	産業労働政策課	問い合わせ先	258-1619	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 11 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ③ SKIPシティを活用した地域の活性化
根拠法令等	さいたま新産業拠点整備計画、さいたま新産業拠点 (SKIPシティ) B街区利用計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	・事業者 ・地域住民 ・SKIPシティ来場者		・市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	・映像などのコンテンツに関する新しい産業創出や情報発信の拠点とするため。 ・地域住民等の利便性向上のため。		・映像などのコンテンツに関する新しい産業創出や情報発信の拠点として整備・活用するほか、地域住民等の利便性向上のために整備を図る。 ・SKIPシティ利活用検討協議会の開催		
30年度の 実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		主な実績		
	・SKIPシティの維持管理 ・NHK所有のC街区と川口市が所有するB街区及び埼玉県が所有するB街区の一部の土地を交換する合意の発表		項目	実績	単位
			B・C街区の除草	2	回
			NHKとの土地交換の合意	1	回
事業の成果 【定性的評価】	NHK所有のC街区と川口市が所有するB街区及び埼玉県が所有するB街区の一部を交換する合意の発表				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	SKIPシティ利活用検討協議会の開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	B・C街区の利活用について埼玉県と協議する非公開の協議会の開催日数						
	単位	回	指標の種別	活動								
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		1		2		1		3				
	実績値・達成状況		1	達成	0	未達成	0	未達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位			指標の種別								
	目標値	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
		実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		一般会計		07款	01項	02目	002細目	03細々目	NHK跡地整備事業			
年度		平成28年度		平成29年度			平成30年度		令和元年度		令和2年度	
予算額(A)		6,944		6,393			6,119		41,481		3,810,403	
決算額(B)=(C)+(D)		5,350		5,105			5,158					
財 源 ※	特定財源(C)	0		0			0		0			
	一般財源(D)	5,350		5,105			5,158		41,481			
概算人件費(E)		4,920		4,680			6,004		7,031		7,031	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.00	0.60	0.00	0.76	0.00	0.89	0.00	0.89	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		10,270		9,785			11,162		48,512		3,817,434	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待以上	15 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	12 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
57 ／60	新たに取得するC街区の利活用をについて、SKIPシティ利活用検討協議会の中で検討していく。	元年度	拡充して実施
		2年度	効率化して実施
		3年度	縮小して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	30年度
--------	------

事業コード	35300204	事業名称	映画祭関連事業			事業区分	主要な事業
							政策宣言32・その他
担当	経済部	産業労働政策課	問い合わせ先	258-1619	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 15 年度 ～ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ③ SKIPシティを活用した地域の活性化
根拠法令等	SKIPシティ国際映画祭開催基本方針

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	・映像クリエイター ・映像関連産業関係者 ・映画祭来場者		同左		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	・「デジタルシネマ」の裾野を広げ、新しいクリエイターを発掘する ・将来本市の産業の核となる映像関連産業の育成に役立てていく		・世界中から募集したデジタルシネマの中から、優秀作品を顕彰する ・オープニング映画製作 ・話題作・最新作の上映や、地域ぐるみで賑わいを創出するためのイベントを開催する		
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたいのか)		主な実績		
	・7月13日(金)から22日(日)まで映画祭を開催 ・川口市市核市移行と映画祭15周年を記念したオープニング作品「君がまた走り出すとき」を製作、上映 ・各種イベントの実施		項目	実績	単位
			SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2018の開催	1	回
			映画制作	1	作品
事業の成果【定性的評価】	・川口市を舞台とした映画「君がまた走り出すとき」が、映画祭開催期間中、上映回全てで満員となった。 ・映画祭来場者数合計では、前年を上回り、過去2番目に多い9,740名となった。				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭入場者数				指標・目標値の説明(算定式)	前年度の来場者を上回る人数						
	単位	人		指標の種別	結果								
	目標値	平成28年度			平成29年度		平成30年度			令和元年度		令和2年度	
		9,375			9,050		9,228						
実績値・達成状況	9,050		未達成	9,228		達成	9,740		達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)							
	単位			指標の種別									
	目標値	平成28年度			平成29年度		平成30年度			令和元年度		令和2年度	
実績値・達成状況													

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		一般会計		07款	01項	02目	002細目	05細々目	映画祭関連事業			
年度		平成28年度		平成29年度			平成30年度		令和元年度		令和2年度	
予算額(A)		25,048		25,000			60,000		25,000		25,000	
決算額(B)=(C)+(D)		25,000		25,000			60,000					
財源※	特定財源(C)	0		0			0		0			
	一般財源(D)	25,000		25,000			60,000		25,000			
概算人件費(E)		4,510		4,290			5,530		4,582		4,582	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.55	0.00	0.55	0.00	0.70	0.00	0.58	0.00	0.58	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		29,510		29,290			65,530		29,582		29,582	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 ／60	映画祭期間中の猛暑などで環境面での課題が出たので、今後も開催の時期や対処法について検討していく必要がある。	元年度	縮小して実施
		2年度	現状維持で実施
		3年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 30年度

事業コード	35300302	事業名称	映像関連普及事業	事業区分	主要な事業 政策宣言32
担当	経済部	産業労働政策課	問い合わせ先	258-1619	新規・継続
					継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 14 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち” — 5 地域資源の活用 — ③ SKIPシティを活用した地域の活性化
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) ・川口市内の小学生(CG制作) ・川口市内小学5・6年生(映画制作)	受益者(最終的に受益を受ける人)	同左
事業の概要	事業の目的(何のために) ・映像産業を核とした次世代産業導入・集積のための人材育成に寄与する ・制作作品を市民に紹介し、映像関連事業の普及・啓発	事業の内容(事業期間を通して何をするのか) ・小学生がCG制作を体験 ・小学5・6年生による15分程度の短編映画制作 ・映像作品上映会の実施	
30年度の実施内容	具体的な実施内容(当該年度に何をしたいのか) ・SKIPシティ内マルチメディアコーナーにて、小学生がCGアニメーションを制作 ・小学5・6年生が、演出、主演、撮影、編集と映画制作全ての作業に携わり、ゼロから映画を制作 ・制作映画を発表会ほか、映画祭にて公開	主な実績	項目 実績 単位
事業の成果【定性的評価】	・川口市内の小学生がCG教室や短編映画制作を通して、映像制作に対する興味・関心が向上した ・作成された映画二作品が、コンクールで入選し、成果を上げた		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	CG教室参加希望者	指標・目標値の説明(算定式)	定員に対して、参加希望者が上回る人数
	単位	人	指標の種別	結果
	目標値	平成28年度 270	平成29年度 270	平成30年度 270
	実績値・達成状況	888 達成	679 達成	964 達成
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)	
	単位		指標の種別	
	目標値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	実績値・達成状況			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	一般会計	07款	01項	02目	002細目	04細々目	映像関連普及事業
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
予算額(A)	5,185	5,185	4,645	4,731	4,731		
決算額(B)=(C)+(D)	5,185	5,185	4,645				
財源※							
特定財源(C)	0	0	0	0			
一般財源(D)	5,185	5,185	4,645	4,731			
概算人件費(E)	1,230	1,560	1,580	1,817	1,817		
従事職員人数(人)	常勤 再任用	0.15 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.23 0.00	0.23 0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	6,415	6,745	6,225	6,548	6,548		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民ニーズ	高かった	13 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民ニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 ／60	映画制作教室については、今年度より新たに期間別のコースを設けたことへの効果を注視する	元年度 現状維持で実施 2年度 現状維持で実施 3年度 現状維持で実施